

三菱ダクト用換気扇 (24時間換気機能付タイプ)

| | |
|----|---|
| 用途 | ミニキッチン・給湯室用 |
| 形名 | VD-13ZVY ₂ ・VD-15ZV ₂ |

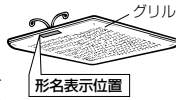
据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

別冊の「取扱説明書」はおお客様用です。必ずお渡しく下さい。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は、台所（ミニキッチン）・居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 形名によって据付け方法が異なりますので、あらかじめご使用の形名をご確認ください。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
- 当社製以外の電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマーなど）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。



1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

| | | | |
|-----------|----------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| 警告 | 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの | 注意 | 誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの |
|-----------|----------------------------------|-----------|--------------------------------------|

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

| | | | | | |
|--|----------|--|-------|--|-------|
| | 禁止 | | 水ぬれ禁止 | | 分解禁止 |
| | 浴室での使用禁止 | | 感電注意 | | 指示に従う |

| | |
|-----------|---|
| 警告 | <ul style="list-style-type: none"> ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。 ●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。 ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。 ●交流 100V を使用する 直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。 ●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。 |
|-----------|---|

| | |
|-----------|--|
| 注意 | <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない 火災の原因。 ●浴室など湿気が多い場所には据付けない 感電・故障の原因。 ●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがの原因。 ●部品の据付けは確実に 落下によりけがの原因。 ●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。 |
|-----------|--|

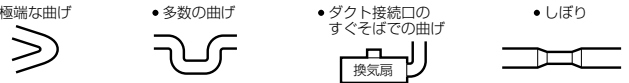
2. 据付け前のお願い

据付け

- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。
- 油煙のかかるところに据付ける場合は、必ず別売のグリスフィルターをグリルに据付けてください。
- 製品据付位置はグリル側面と部屋の壁面を 150mm 以上すき間を開けてください。グリルの取りはずしがやりにくい原因となります。

天井・ダクト工事

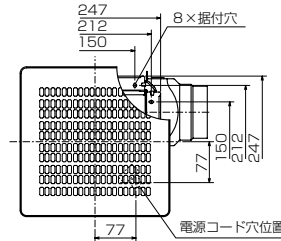
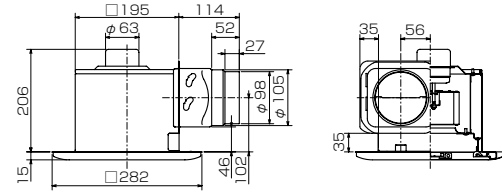
- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1/100 以上の下り勾配をつけてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
 - 極端な曲げ
 - 多数の曲げ
 - ダクト接続口のすぐそばでの曲げ
 - しぼり
- 天吊金具を使用する場合、製品の着脱には天井裏での作業が必要です。天井裏での作業ができるよう製品の近くに点検口を設けてください。点検口がない場合、製品取替えなどで天井などを壊す費用は、お客様の負担となります。



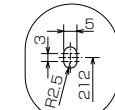
3. 外形寸法図

【付属部品】木ネジ……6本

■VD-13ZVY₂



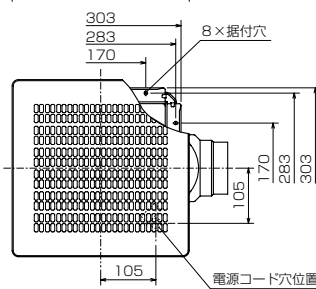
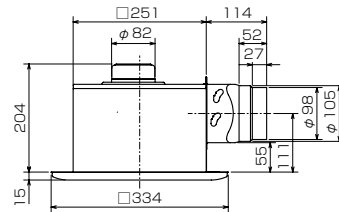
■据付穴詳細図



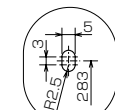
ダクト径
φ100mm
埋込寸法
□205mm
(野縁高さ30mm以下)

単位 (mm)

■VD-15ZV₂



■据付穴詳細図



ダクト径
φ100mm
埋込寸法
□260mm
(野縁高さ45mm以下)

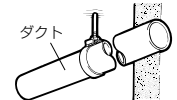
単位 (mm)

4. 据付方法

1. ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊る。

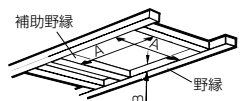


2. 野縁組立

(天吊金具を使用する場合は天吊金具を使用する場合を参照)

図のように天井の野縁と補助野縁で据付枠を組む。

- ダクト接続口を据付ける野縁はB寸法以下にする。



- 野縁高さをB寸法以上で据付ける、シャッター開閉不良、異常音の原因となります。

お願い

- 天井がたわまないように、十分強度のある野縁に据付けてください。
- 野縁を組立てる際は、据付穴のピッチと据付穴の詳細図をご確認ください。野縁内寸法が大きいと、木ネジが垂直に打てなくなり、野縁の割れによる固定不具合が発生します。

| 形名 | A寸法 | B寸法 |
|-----------------------|-----|-----|
| VD-13ZVY ₂ | 205 | 30 |
| VD-15ZV ₂ | 260 | 45 |

単位 (mm)

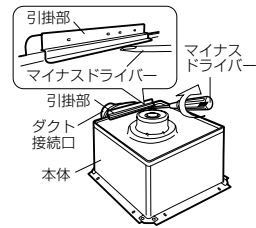
4. 据付方法 つづき

3 ダクト接続

ダクト接続口の取りはずし

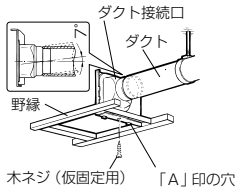
ダクト接続口は無理に引き抜かないでください。

- 図のように本体と引掛部のすき間にマイナスドライバーを差し込み、回してダクト接続口をはずす。



ダクト接続口の固定

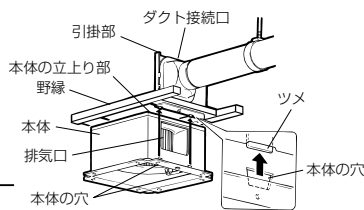
- ダクト接続口をダクトに差し込み野縁の角の直角に合わせ、すき間がないよう付属の木ネジ1本で仮固定する。「A」印の穴を使用
- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向7°)



4 本体の据付け

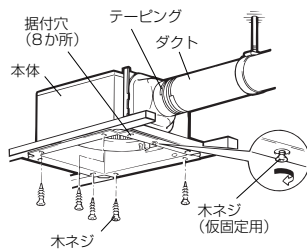
本体の差し込み

- 本体の穴とダクト接続口の内側のツメおよび本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまりこむように本体とダクト接続口を接続する。



本体の固定

- 1 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ5本で本体をすき間のないようにしっかり固定する。(すき間があると風漏れの原因となります)
- 2 ダクト接続口を仮固定している木ネジ1本を締め付ける。
- 3 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。



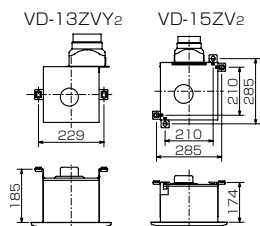
●ダクト接続をネジで行う場合はネジでダクトを接続する場合は参照してください。

別冊の「据付説明書 5 電気工事」へつづく

天吊金具を使用する場合

野縁に強度がない場合は天吊金具を使用して据付ける方法も兼用してください。

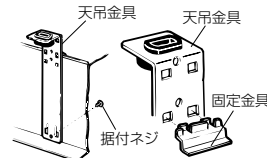
右図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト (M8) を埋め込む。(対角位置の2か所)



天吊金具 (システム部材) を据付ける。

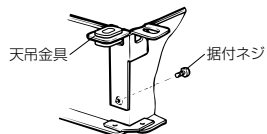
■VD-13ZVY2の場合 (P-03TK2使用)

- 1 固定金具を天吊金具に差込む。
- 2 天吊金具を本体に引掛けて内側より据付ネジで固定する。

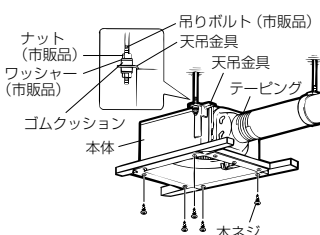


■VD-15ZV2の場合 (P-05TK使用)

- 1 天吊金具を本体に引掛けて内側より据付ネジで固定する。



- 1 本体が水平になるように天吊金具を吊りボルトに据付け、ナットがゆるまないようワッシャー・ナットにて確実に固定する。



- 2 付属の木ネジ5本で本体を野縁に固定する。

- 3 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

●お願い

- ダクト接続をネジで行う場合はネジでダクトを接続する場合は参照してください。

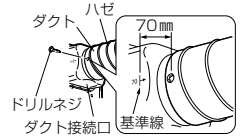
別冊の「据付説明書 5 電気工事」へつづく

ネジでダクトを接続する場合

ネジによる接続

- 1 図のように矢印から水平に70mmの位置に市販のドリルネジで固定する。スパイラルダクトでハゼ部が上記70mmの位置にくる場合は、矢印から水平に60mmの位置に固定する。

- ドリルネジの長さはダクトの種類に合わせ、右表を参照してください。シャッター開閉や固定不良の原因となります。



| ダクト外径(㎜) | 100~105 (スパイラルダクト) | 106~110 | 114 (VPM等) |
|----------|--------------------|---------|------------|
| ネジ 呼び長さ | 10 | 13 | 16 |

- 2 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでネジの頭をテーピングする。

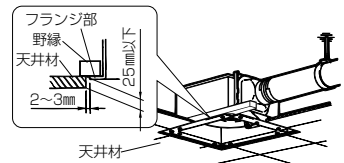
別冊の「据付説明書 5 電気工事」へつづく

6 天井材を張る

- 1 天井材を張る。
- 2 本体のフランジ部分と天井材とは必ず2~3mmのすき間があくよう角穴をあける。

●お願い

- 本体固定の際は本体と天井のすき間のないように固定してください。(すき間があると風漏れの原因となります)
- 天井材の厚さは25mm以下で据付けてください。(グリルが天井材に密着しない場合があります)



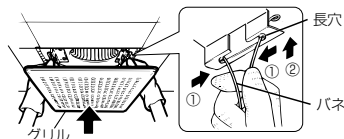
7 グリルの据付け

油煙のかかるところに据付けた場合

- 油煙のかかるところに据付けた場合、必ず別売のグリスフィルターを据付けてご使用ください。
- グリスフィルターの据付けは、「グリスフィルターの据付け・取りはずし」(表面) またはグリスフィルターに付属の取扱説明書を参照してください。
- グリスフィルターは右表を参照し、形名に合ったものを据付けてください。

| 形名 | グリスフィルター形名 |
|-----------|------------|
| VD-13ZVY2 | P-13GFZ-M |
| VD-15ZV2 | P-15GFZ-M |

- 1 グリルのパネを指先で締め長穴に差し込む。パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。
- 2 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。



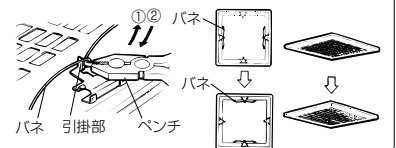
5. グリルの調整

グリルの方向を変更する場合、天井材に合わせてグリルの方向を変更できます。

- 1 パネを固定しているグリルの引掛部をペンチなどで開き、パネをはずす。
- 2 はずしたパネの位置を変えてグリルの引掛部にパネを引掛ける。ペンチなどで引掛部を曲げ、抜け止めをする。

●お願い

- グリルの引掛部はゆっくりと折りに折り曲げてください。急に強く曲げたり、何度も繰返しますと折れることがあります。



6. 試運転

据付けが終わりましたら、ブレーカーを入れ、試運転してください。

- 電源を入れた後、羽根が回転をはじめるまでに2秒程度かかります。
 - ※運転が安定するまでに数十秒かかります。
- 「強」または「弱」運転の場合、コントロールスイッチにて電源を入ると自動的に風量調整運転を行います。
 - ※風量調整運転中は運転音に変化することがあります。これは換気風量を適正に保つための運転によるものであり、異常ではありません。

7. 修理を依頼する前に

●試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

| こんなとき | 原因 | 点検・処置 |
|------------------------------------|---|---------------------|
| 電源スイッチを入れても羽根が回転しない 正しく結線されていない | 分電盤のブレーカーが「切」になっている | ブレーカーを「入」にする |
| | 結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部) ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する ※「共通」への結線が正しく接続されていることを確認する ※別冊の「据付説明書 5 電気工事」の線間電圧表を確認する | |
| 運転中に異常な音や振動がする | 本体・グリルが確実に据付けられていない | 正しく据付け直す |
| | 羽根・グリルに異物が付着している | 異物を取り除く |
| | 本体の固定(天吊金具・ネジ止め)が弱い | 本体の固定を確認する |
| | 換気風路の抵抗が大きい(ガラリ・アンダーカット) | ガラリ・アンダーカットを開けて給気する |
| | 換気風路の抵抗が大きい(ダクト配管) | ダクトのつづり、急な曲がりやを修正する |
| 換気風路の抵抗が大きい(屋外フード) | 屋外フードのほこりを清掃する(特にリフォーム時) | |

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8866 岐阜県中津川市野崎町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。